

おいしく育て！ 私たちの田んぼと畑で

町内の各小学校では、各地域の農家の方から指導・助言をいただきながら、農作物を育て収穫し、食するなかで、食べることの尊さ、農作物を育てる大切さを学ぶ農業体験事業を行っています。
今回ご紹介するのは、今年各小学校で行われた水稻やサツマイモの栽培を体験した児童たちの作文です。



上野合小学校



駒場小学校



沼前小学校



川根小学校

いもなえをうえたよ

駒場小学校二年 齋藤望花

五月に一、二年生のみんなでさつまいものなえをうえました。いもなえのはっぱは、みどり色でハートのような形をしていました。おかじま先生に、くきの三分分を土の中に入れると教えてもらいました。先生は、「うえたあととは、かれそうになっても水はあげないでください。」と言いました。わたしは、かれそうになっても水をあげないと聞いてびっくりしました。からすになえをぬかれたときは、なえをもとにもどすことも分かりました。大きくなってあまくて、おいしいおもいもなあってほしいなと思います。

田植え学習を行って

川根小学校五年 望月菜々香

川根小学校の仲良し田んぼで、初めて田植えをしたとき、私は全部手作業でやるのは、とても大変な作業だと思いました。どろんどろんがはまって手や足がすぐよごれてしまったけど、五本の稲のたばを一つ一つ丁寧に植えて最後まできれいに仕上げることが出来ました。地いきの方が、やさしく教えてくださったので、みんなもよく出来ていました。そして田植えをしているうちにどんどん楽しくなりました。今年が川根小最後の田植えになってしまったので、少し残念ですが、とてもいい思い出になりました。秋祭りでは、私たちの作ったお米が使われるのでとても楽しみです。

初めての田植え

上野合小学校五年 笹目葵

私は田植えの体験を通して、お米を育てることの大変さを知りました。私たちは、ブライトリダーの平澤協一さんの田んぼで、田植えの体験をすることができました。まず、苗を三つくらいにばねて、一つの株に植えていくのですが、ぼにまっすぐ一列に植えていくのですが、なかなかうまくいきません。曲がったり倒れたりしました。しかも、どろんどろんと動かしすぎて、背中が太陽の熱であつくなっていました。今は機械があつて楽だけど、昔の人は、すべて手作業でやっていたので、本当に大変だったんだと思いました。苗がピンとなり、お米がたくさん実ることを祈りながら、世話をしていきたいと思

さつまいもをうえたよ

沼前小学校二年 勝山唯衣

学校でみんなといっしょに、さつまいものなえをうえました。はじめに、土で山を作ったあと、マルチをかぶせました。なえは、五本ずつもらいました。土にあなをあげ、そのあなになえをうえました。なえがたおれないように、なえのまわりにそっと土をかぶせました。かぶせたあとで、やさしく土をたたきました。わたしは、さつまいものなえがおれてしまふと思ったのですが、おれなかったのよかったです。さいごに、みんなでお水をあげました。早く大きくなって、みんなでたべるのが楽しみです。

2014

第5回 ひぬまあじさいまつりフォトコンテスト

入賞作品決定

最優秀賞【あじさい花盛り】 撮影：米川 誠さん

茨城町観光協会主催による2014第5回ひぬまあじさいまつりフォトコンテストの審査が行われました。今年は、応募者数40名、作品数73点と昨年を大幅に上回る応募があり、以下の方々の入賞が決定いたしました。

2014第5回ひぬまあじさいまつりフォトコンテスト入賞者 (敬称略)

- 最優秀賞 (1点)
米川 誠 (茨城町) 【あじさい花盛り】
- 優秀賞 (3点)
滝田 澄江 (石岡市) 【紫の風車】
山本 幸子 (水戸市) 【妖精の谷】
長根絵里子 (東京都江東区) 【蜘蛛とあじさい】
- 特別賞 町長賞 (1点)
小川 賢二 (茨城町) 【あじさいの小路】
- 特別賞 議長賞 (1点)
藤井 陽美 (石岡市) 【ミルキーウェイ】
- 佳作 (5点)
菊池 孝 (大子町) 【紫陽花の小路】
斎藤 忠 (日立市) 【癒される小径】
林 昭 (牛久市) 【彩づく新名所】



特別賞 町長賞【あじさいの小路】
撮影：小川 賢二さん

- 久保田敬一 (茨城町) 【森が輝く頃には】
- 酒井 永 (桜川市) 【梅雨の晴れ間】

11月10日(月)から11月28日(金)まで、
役場1階玄関ロビーにて応募作品を展示します。
ぜひご覧ください。

【問合せ先】 地域産業課 ☎ 240-7124